

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 タイヤコート
会社名 株式会社ニューホープ
住所 〒350-0226 埼玉県坂戸市本町 7-17
電話番号 049-277-5333
FAX 番号 049-277-5334
作成日 2020 年 7 月 9 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

有害性項目	区分
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
水生環境有害性(急性)	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険性有害性情報

警告
皮膚刺激
眼刺激性

注意書き

水生生物に毒性
取り扱い後は手をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
環境への放出を避けること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当をうけること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には
外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く
場合には医師の診断を受けること。

3. 構成及び成分情報

成分	シリコーン 界面活性剤 水
----	---------------------

4. 応急措置

一般情報	被災者を安全な場所へ移動する。救助者は、応急処置に備えて保護具を点検して着用する。
吸入した場合	本製品に触れた場合には医師の診断を受けること。 患者は安静を保つ。低温化を防ぐ。直ちに医師を手配し、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。
皮膚に付着した場合	布又は紙で拭いて取り除く。直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼水で10分～15分洗い流す。 大量に被液した場合には、すぐに緊急シャワーで体全体を洗う。直ちに医師を手配し医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
眼に入った場合	清浄な水で数分間注意深く洗う。その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄をした後医師の手当てを受ける。まぶたを十分に開き、眼とまぶたの裏側を洗浄する。 医師の診察を受けて、対象物質を明らかにする。
飲み込んだ場合	多量の水を少量ずつ分けて与える。吐きださせない。直ちに医師の手当てを受ける。
医師へのアドバイス	吸入後出来るだけ早くコーチゾーンスプレーを用いて処置する。

5. 火災時の措置

一般情報	不燃物の為、火元の火災状況に適した消火剤を使用する。
消火剤	非該当
使ってはならない消火剤	非該当
製品又は分解生成物、発生ガスなどによる危険有害性	非該当
消火時に必要な保護具	空気呼吸器を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項	保護具を着用する。眼や皮膚への接触を防ぐ。製品が床に飛散すると滑る危険がある。
環境に対する注意事項	下水道、河川、海洋、湖沼、土壌に流さない。製品が広がらないように土などの適切なもので堰き止める。
除去方法	回収し、各自治体の廃棄処理法令等を確認して処分する。少量の場合には、珪藻土などの吸着材に吸収させ、法規制に従って廃棄処分する。大量に回収する場合には、ポンプなどを用いて適当な～容器に回収する。滑りやすい残留被膜は洗浄剤、石鹼溶液又は生分解性洗剤を用いて除く。

7. 取扱い保管上の注意

一般情報		使用前に十分に攪拌する。
取扱い	安全取扱注意事項 火災、爆発防止の注意事項	製品がこぼれた場合、滑りやすくなるので注意する。 火災や爆発の恐れは無い。
保管	保管場所及び容器 接触を避ける物質等 その他の保管条件等	プラスチック製もしくはプラスチック内張り容器に保管する。 非該当 日光に当てない。凍結させない。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値	作業環境の限界値	非該当
暴露限界管理値		
作業場所での暴露対策	一般的な保護対策及び衛生対策	眼への接触を防ぐ。取扱中は飲食しない。
	保護具	
	呼吸用保護具	特に必要無し。
	手の保護具	ブチルゴム製手袋、ニトリルゴム製保護手袋。60分以上称使用可能な保護手袋。
	眼の保護具	密着性がよい保護ゴーグル。
環境への漏出対策		河川、海洋、湖沼や土壌に流さない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	液体
	色	乳白色
	臭い	弱い
物理的状態が変化する温度、物理的危険性等の情報		
	性状	値
	融点	-1℃
	沸点、	約 100℃/1013hpa
	引火点	非該当
	発火点	非該当
	爆発限界(下限)	非該当
	爆発限界(上限)	非該当
	蒸気圧	23hpa/20℃
	密度	約 1g/cm ³
	蒸気密度	データなし
	水溶性/混和性	完全混和
	pH	約 6/20℃
	n-オクタノール/水分配係数	データなし
	粘土	データなし

10. 安定性及び反応性

一般情報	現時点において、通常の工業的取扱い及び保管において危険な報告はされていない。	
避けるべき条件	知見なし	
避けるべき物質	知見なし	
危険有害な分解生成物	規則に従った貯蔵と取扱いによる場合	知見なし
	製品中のシリコン成分	約 150℃以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

一般情報	2 項の危険有害性を参照	
有害性情報		
人への影響		
追加の毒性情報	含有成分に基づく製品の評価	皮膚に接触すると感作の恐れがある。

12. 環境影響情報

生体毒性		現時点において、魚類に対する有害性は報告されていない。
下水処理場の影響		現時点において、排水処理施設への影響は報告されていない。
移動性	シリコン成分	吸着マットなどに吸収、又は沈降法によって分離する。
残留性/分解性		
	生分解性/追加情報	
	シリコン成分	生分解性は低い
	追加情報	
	シリコン成分	活性汚泥への吸着により処理可能
生体蓄積性		生体内での蓄積性は無い。
その他の有害性		
追加情報		
	一般情報	通常の工業的取り扱いにおいて、環境に関する報告はない。

13. 廃棄状の注意

残存廃棄物		燃焼することとし、化学物質の焼却処理ができる専門業者に依頼するか、自社で焼却する場合には廃棄物処理関連法令及び条例等に従って場合は処理する。二酸化ケイ素微粉末が生成するので、適切な電気集塵装置等が設置された焼却設備で焼却する。また、防塵マスク等の保護具を着用する。
汚染容器・包装		液ダレ、残粉がないように注意深くかき出し、容器から中味を完全に取り除く。自社で廃棄処理する場合は、廃棄物処理法令及び条例に等に従って処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制	陸上輸送	
	消防法区分	非該当
	追加情報	運送に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
海上輸送		
	評価	非危険物
空港輸送		
	評価	非危険物

15. 適用法令

主な適用法令(日本)	国、地域の規制を確認すること。ラベルについては2章参照
化学物質管理促進法	第一種指定化学物質 第407号 ポリキシエチレンアルキルエーテル(C12-15)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	
施行令別表第一危険物	非該当
有機溶剤中毒予防規則	非該当
施工例第18条	非該当
第57条の2(通知対象物質)	非該当
消防法	
消防法区分	非該当
その他の国際規制	
国際的な規制の詳細	以下のリストに記載済み EINECS-Europe ECL-Korea ENCS-Japan AICS-Australia IECSC-China DSL-Canada PICCS-Philippines TSCA-USA

16. その他の情報

捕捉	記載内容は、現時点で入手しえる資料、情報、データに基づいて作成した通常の実験データを前提とした危険有害性データで、将来訂正されたり、変更されたりすることがあります。また物性値などの値は実測値の一例であり、規格値及び保証値ではありません。
----	--